



うみかぜ 海風



Port of Omaezaki



御前崎港管理事務所だより159号(R5.3)



エコパークだより！ … 市民参加による公園づくり

ポートサポーター「御前崎エコクラブ」と「学生」が協働して、園路を作りました。

エコパークは、御前崎港のポートサポーターである市民団体「御前崎エコクラブ」が県と協働で、日ごろから維持管理を行っている港湾緑地です。

7,000坪の敷地には、約400種類の花や木が植栽されており、1年を通して草花が楽しめます。

3月22日(水)には、「御前崎エコクラブ」に地元の中学生・高校生(榛原高校、浜岡中学校、御前崎中学校)15人が加わって、園路等に砂利を敷設する作業を行いました。

この作業で、園路の幅が広くなり、より歩きやすい公園になりました。また、これから、雑草が繁茂する季節となりますが、砂利の敷設は、防草の効果も期待できます。



砂利の敷設により歩きやすくなった園路



砂利を敷きならす学生



御前崎エコクラブと学生の皆さま

エコパークでは、榛原高校グローバル部による園内マップの作成など、市民参加による公園づくりが進んでいます。

今後も「御前崎エコクラブ」をはじめ、地域の皆さま、地元学生、多様な関係者との協働に取り組み、市民に愛される港づくりに努めてまいります。

【コラム】ヤシに寄生する「みなと恋人桜」



2本のヤシ(フェニックス)にそれぞれ寄生する桜



寄生する桜の拡大

エコパークの中心付近には、大きな2本のフェニックス(カナリーヤシ)が植わっていて、それぞれに桜が着生しています。桜がそれぞれ向かい合うように生える様子は、まるで恋人同士のように見えることから、「**みなと恋人桜**」と呼ばれ、エコパークの名所となっています。

4月上旬には開花する予定ですので、是非、エコパークにお立ち寄りください。

“みなと”の取組紹介！ …いかなる時でもみなと機能を持続させるために

感染症に対する「対応のあり方」と「具体的な行動計画」を検討



WEB併用により、港湾関係者で感染症に対する対応を議論

港湾関係者や船舶の乗員・乗客に感染症が発生・拡大すると港湾における労働者の不足や事業所の閉鎖、船舶の運航停止などで、“みなと”の機能が低下する恐れがあります。

このため、港湾関係者で、感染症への対応のあり方や具体的な行動計画を「**御前崎港みなと機能継続計画(感染症編)**」として令和5年3月に取りまとめました。

連絡先: 御前崎港管理事務所企画振興課 〒437-1623 御前崎市港6170-1
電話: 0548-63-3213 FAX: 0548-63-2173 メールアドレス: omaezaki-kikaku@pref.shizuoka.lg.jp
ホームページ: <http://doboku.pref.shizuoka.jp/desaki2/omaezaki>



※御前崎港の見学を御希望の方は、お気軽に管理事務所まで御連絡ください。皆様のお越しをお待ちしております。